

『医療者教育のビデオ・エスノグラフィー』 刊行意義確認シンポジウム & 医療者教育支援会

趣旨

『医療者教育のビデオ・エスノグラフィー』(晃洋書房)の出版を記念し、本の意義を確認するとともに、本の内容を、動画付きで執筆者自身が解説する。

更に、コミュニケーション教育で困っている医療者教育関係者があつまって、問題解決を志向したワークショップを行う。

日時

2018年3月24日(土曜日)12:30~17:30

(注)登壇者公募中

(旅費の一部をサポートの予定 詳しくは下記アンケート)

会場

神戸・学園都市駅そばユニティ(アクセスは下記サイトを参照)
駅から南へ徒歩1分

2F: セミナー室3

登壇者紹介

孫大輔先生(東京大学・医学教育国際研究センター)
医学教育学

本山方子先生(奈良女子大学・文学部 & 障害学生支援室)
教育心理学

他 公募に応募して下さった先生方及び著者(10名中6名)

司会

榎田 美雄(神戸市看護大学)
社会学・医療コミュニケーション研究, 保健医療社会学会長

アンケート回答サイト

https://docs.google.com/forms/d/1xOc8ywGC_2k2XCECtyxgtGwdY_YX03z8iaGC0fQgyjc

※榎田美雄の個人サイト(kashida-yoshio.com/)からもアクセス可能です。

「榎田美雄」でご検索下さい。

会場のウェブサイト <https://www.unity-kobe.jp/> (ユニティ)

連絡先: 榎田 美雄 (kashida.yoshio@nifty.ne.jp)

TEL 070(5681)4143

主催: 神戸市看護大学 榎田研究室

プログラム

＝第1部：本書の意義の確認(基調講演とミニシンポ)＝12:30～14:10

基調講演1 孫大輔先生(東京大学・医学教育国際研究センター:医学教育学)

※『対話する医療:人間全体を診て癒すために』(さくら舎)の著者。

「医療コミュニケーション教育のミライ:対話型教育の可能性」

基調講演2 本山方子先生(奈良女子大学・文学部&障害学生支援室:教育心理学)

「奈良女子大学におけるコミュニケーションに特別なニーズがある学生への

合理的配慮の内容と理論的背景」

実践報告 本学のコミュニケーション教育の現状と未来構想(その1) **※募集中!**

(=とくに発達障害的傾向のある学生の育成策に関連させて=)

(医学部から:登壇者募集中)

ミニシンポジウム

(40分間. 登壇者は孫大輔先生と本山方子先生, および

中塚朋子先生(編者・就実大学), 岡田光弘先生(編者・成城大学)他)

＝第2部：各章の内容の説明with動画＝14:20～16:10

解題1 3章・医療面接のコミュニケーション分析」with動画←岡田光弘(成城大学)

解題2 4章・医療面接教育における「医学的情報」と「心理・社会的情報」with動画

←中塚朋子(就実大学)

解題3 5章・会話の秩序と医学教育with動画←秋谷直矩(山口大学)

解題4 6章・医学教育担当者から見たビデオ・エスノグラフィーの価値with動画

←宮崎彩子(兵庫医科大学)

解題5 9章・総合診療科での診療場面から見た医療面接教育の再考with動画

←阿部哲也(関西医科大学)

各20分=15分+5分=+全体での議論を20分

＝第3部：研究成果に関する応用検討研究会＝16:20～17:30

報告1 本学のコミュニケーション教育の現状と未来構想(その2) **※募集中!**

(=とくにアウトカムベースドラーニングに関連させて=)

報告2 本学のコミュニケーション教育の現状と未来構想(その3) **※募集中!**

(=とくにビデオを用いた振り返り型学習に関連させて=)

(いずれも医学部から:登壇者募集中)

ワークショップ(医療者教育困りごと相談会)

(ファシリテーターは, 第1部・第2部の登壇者. さいごに全体会で成果を共有)

■前半は, 数人ずつのグループに分かれて, ファシリテーター付き のワークショップを行う.

後半は, 各グループの議論を全体化して, 集約する.

※この研究集会は, 『医療者教育のビデオ・エスノグラフィー~若い学生・スタッフのコミュニケーション能力を育む』(晃洋書房, 2018, 2刊行予定)の出版をより有意義なものとするために, 同書の基盤となった科学研究費補助金(課題番号:15H03411)の支援を受けて行われるものです.

※※ 記録のために, 録音・録画があることをあらかじめご了承ください.